

第53回神戸電鉄粟生線活性化協議会

日時：令和6年10月2日（水）
午前10時10分～午前11時15分
場所：三木市役所 5階 大会議室

○事務局

失礼いたします。

それでは、定刻となりましたので、ただいまから第53回神戸電鉄粟生線活性化協議会を開催いたします。

私は、協議会事務局の三木市都市整備部交通政策課長の●●と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

それでは、開会に当たりまして、協議会会長の●●会長から御挨拶を申し上げます。

○会長

皆さん、こんにちは。

今日は大勢お集まりをいただきましてありがとうございます。

本年度は、この粟生線活性化協議会、2回目の開催となります。今日は、例年この秋に行っております国に対する要望についてということで御審議をいただくことになります。

また、併せまして、神戸電鉄粟生線地域公共交通計画の数値目標に対する令和5年度の実績及び評価について、また粟生線の利用状況や今年度の協議会事業について御報告をさせていただきます。

少し三木市の話題ということになるんですが、今年は8月24日に、例年より一月遅らせて、みっきい夏まつり花火大会を開催させていただきました。昨年は非常に渋滞しておったということで、警察ともいろいろと協議をさせていただいた結果、日をずらして交通渋滞を避けるという、車線規制等も行っていました。結果的には、粟生線も多くのかたに御利用いただけたのではないかなというふうに思っています。

また、10月26日には、三木山総合公園におきまして、市制70周年記念ということで、三木市内の文化資源であります祭り屋台、30基が集まって大集合するという催しもございますし、また11月2日、3日、第1土日は、もう例年同様金物まつりということでございますので、粟生線の利用促進のほか、またお時間ありましたら多くのかたがたにも足を運んでいただければというふうに思っております。

今日もまたいろんな議論をさせていただきますが、忌憚のない意見をお出しいただければと思います。どうぞよろしくお願い申し上げ、開会の挨拶といたします。

○事務局

ありがとうございました。

続きまして、会議の次第2に移らせていただきます。

お手元の配布資料の一番後ろにつけております協議会規約の4ページ目、別表1の委員名簿を御覧ください。

名簿のうち、赤書きをさせていただいております赤書きの委員につきましては、人事異動により、前回協議会から変更があった委員となっております。変更がございました委員を御紹介いたします。

兵庫県小野警察署交通課長の●●委員でございます。●●委員、どうぞよろしくお願い申し上げます。

○●●委員

お願いします。

○事務局

なお、本日につきましては、オブザーバーの●●様の代理といたしまして、●●様に御出席いただいております。

また、●●委員、●●委員、●●委員、●●委員、●●委員、●●委員とオブザーバーの●●様におかれましては、本日欠席の御連絡をいただいておりますことを報告させていただきます。

続きまして、本日、本協議会の委員25名のうち、出席は17名と過半数以上の出席をいただいておりますことから、協議会規約第8条第4項の規定によりまして本会議は成立しておりますことを御報告いたします。

それでは、ここからの進行につきましては、●●会長にお願いさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

○会長

それでは、早速ですが、会議次第に基づいて進めさせていただきます。

議事事項、1号ということで、国への要望についてということを議題とさせていただきます。

まず、事務局から説明をお願いします。

○事務局

おはようございます。三木市交通政策課の●●と申します。よろしくお願いいたします。

以下、着座にて説明させていただきます。

では、そうしますと、資料１といたしまして、クリップでまとめております資料をお手元に御準備をお願いいたします。

資料１の神戸電鉄栗生線活性化の取組等に対する支援に関する国への要望について、それから資料１の別紙で国への要望等の案の資料になります。

そういたしますと、資料１から御説明をさせていただきます。

神戸電鉄栗生線活性化の取組等に対する支援を求めるため、引き続き国への要望活動を実施するということでございます。

１の要望内容ということで、大きく５点上げております。

要望の１点目、（１）でございますが、少子・高齢化や人口減少の進展等に加えて、新型コロナウイルスの影響による社会情勢の変化により利用者数が激減し、元に復することが困難と見込まれる鉄道事業者の厳しい経営環境を踏まえた、栗生線の運行継続を可能とする長期的視野に立った財政支援を求める内容でございます。

その下にアとイとございますが、アにつきましては、運行サービス水準の確保に必要な経費に対する支援など、直接的で即効性の高い財政支援を求めるといった内容でございます。

その下のイにつきましては、神戸電鉄栗生線は、割安な通学定期運賃で運行されているほか、障がい者におかれましては特別割引運賃で運行されており、こうした社会政策に係る費用を負担されている負担に対しての財政支援を求めるといった内容でございます。

要望の２点目、（２）でございますが、栗生線の安全運行に必要な予算の確保ということで、鉄道安全輸送設備等の整備に対する支援制度の堅持、拡充を求めるものでございます。

要望の３点目、（３）でございますが、人員確保への環境整備及びデジタルトランスフォーメーション化の推進等に対する財政支援ということで、運行サービス水準の確保のための人員確保への環境整備と併せまして、資料裏面に移りますが、神戸電鉄さんにおかれまして効率化、省力化に関する支援、取組への支援を求めるものでございます。

要望の４点目、（４）でございますが、栗生線の防災機能強化に対する支援ということ

でございます。近年、激甚化、頻発化しております自然災害への対策、災害復旧に対する支援というものを求めるといった内容でございます。

最後、（５）番でございますが、地域公共交通に基づく事業の推進に対する支援ということでございます。令和４年に策定いたしました神戸電鉄栗生線地域公共交通計画でございますが、そちらに基づく事業の推進への支援を求めるものでございます。

要望の大きな５項目としては以上でございます。

続きまして、資料１の別紙に移らせていただきます。

さきほどの要望事項の中で、鉄道安全輸送設備等整備事業補助金といったものの御案内もございましたが、そちらの推移と今後の見通しについてまとめたものが資料１の別紙になっております。

鉄道事業者が実施されます安全性の向上に資する鉄道設備の更新、改良に要する経費につきましては、国、県、沿線市町の補助制度を設けておりまして、そちらで支援をするといったことになっておりまして、鉄道の安全で安定した輸送サービスの確保が図られているということでございます。これまでもおきまして、神戸電鉄様におかれまして、新型車両の導入など、様々な取組を行っておられまして、それらに対して行政が支援を行ってきたといったところでございます。今後につきましても、これらの取組に加えまして、例えばですが、変電所設備の更新ですとか車両更新なども予定されているということでございますので、更なる支援が必要となっているといった状況でございます。

資料、最後にはなりますが、要望書の案をとじたものもつけさせていただいております。さきほどの資料１にて御説明いたしました要望５項目に加えまして、栗生線の概要等にも触れておりますので、こちらにつきましましてはまたお時間あるときにお目通しいただければというふうに思っております。

簡単ではございますが、国への要望については以上でございます。

○会長

ありがとうございました。

御意見を聞く前に、私から質問なんです、資料１の別紙、補助金申請予定額ということで、令和６年４億７５００万円、令和７年が約８億ということで、国だけ見ましたものですね。非常に大きくなっておりますが、これは車両更新とか何か理由があるのでしょうか。

○事務局

令和7年度で増えている理由でございますが、まず1つは車両更新、新設新造更新といったものも予定をされております。更には、変電所設備も老朽化してきておりますので、そういった設備の更新といったところも補助額、事業費が大きくなっている要因でございます。

○会長

ありがとうございます。

では、さきほどの件について御意見等ございましたら、マイクを回しますので、挙手にてお願いをいたします。

よろしいですか。

(「なし」の声あり)

○会長

また後でありましたら、そのときにおっしゃっていただいてもけっこうでございます。

御意見はありませんので、次に移ります。

これ、なお、国要望は、この紙では10月から11月ということになっておりますが、大体日は決まってるのでしょうか。

○事務局

現在の予定では、10月29日を考えておりますが、国のほうで読めない部分がございます。確定はまだしておりませんが、10月から11月にかけて行いたいと考えています。予定では10月29日ということで御了承いただきたいと思います。

○会長

分かりました。ということは、解散総選挙の投票日の2日後だから、その辺が予定ということですね。

○事務局

はい。

○会長

分かりました。

では、次の報告事項に移らせていただきます。

まず、1番の地域公共交通計画の数値目標に対する5年度の実績及び評価等について、これをまず事務局から説明をお願いします。

○事務局

失礼いたします。

お手元に資料2を御準備お願いいたします。

では、この資料2でございますが、令和4年に作成いたしました神戸電鉄粟生線地域公共交通計画の基本方針1から3までにおける指標の数値目標に対しての令和5年度の実績値及び評価等について取りまとめた表になっております。

この内容につきまして御解説をさせていただきます。

なお、表の構成といたしましては、左から基本方針がございまして、指標、その隣に現況値、こちらは令和3年度の数値となっております。その隣に実績値といたしまして、令和4年度、令和5年度の実績値を記載しておりまして、その横に目標値、令和9年度末の目標でございますが、目標値を記載しており、その隣に評価もしくは今後の取組といったところを記載している表の構成でございます。

項目はたくさんございますけども、主なものに絞って御案内をさせていただきます。

まず、基本方針1番のところにあります③番、上から3つ目でございますが、時間貸しパーク・アンド・ライド駐車場の年間利用者数でございます。

令和5年度の実績値、黄色の網かけをしているところでございますが、令和3年度からプラス2,900人という実績でございました。

目標値でございます令和3年からのプラス3,100人という数値に対しては、達成率は93%の割合、達成率といったことでございました。

利用者数につきましては、令和4年度と比べましても増加傾向にはなっておりますが、今後はパーク・アンド・ライド駐車場の精算機におけるキャッシュレス化の拡充に加えまして、キャッシュレス決済のポイント付与を活用いたしましたリニューアルキャンペーンの実施等によりまして、更に利用促進を図ってまいりたいと考えております。

また続きまして、基本方針3の指標のうち、一番下の③番でございます。定期外鉄道利用者数及び沿線地域1人当たりの年間鉄道利用回数でございます。

令和5年度の実績値といたしましては、令和3年度からプラス46万人の320万人の実績でございました。目標値、プラス56万人に対しては、割合、達成率としては82%といった結果でございました。この定期外の利用者数及び回数の増加については、太字で書いておりますが、粟生線サイクルトレインなど含めまして、サイクリングを活用した、サイクリングと連携したような事業も行いながら、定期外の利用促進に今後もつなげていきたいというふうに考えております。

以上、簡単ではございますが、令和５年度の実績値としては以上でございます。

○会長

説明ありがとうございました。

令和５年度の実績及び評価等についてということで、本当に簡単な説明でありましたが、御意見、御質問がありましたら、挙手にてお願いをいたします。

はい、では、●●先生。

○ 委員

もしお分かりになれば教えていただきたいんですけど、さきほど御紹介のあったパーク・アンド・ライドなんですけれども、日々の変動がけっこうあるのか、それとも定期利用者が少し増え出してるのか、そのあたり情報の分析されてたら教えていただきたいんですが。

○会長

どうぞ。

○事務局

御質問ありがとうございます。

今の御質問にありました日々の動きということでいいますと、事務局のほうで日々の動きまではちょっと把握はしておりませんけれども、これはコインパーキング駐車場ということになりますので、いわゆる定期利用というよりかは、毎日利用されたときに時間によってお支払いされると、いわゆる月ぎめとか、そういう駐車場のパーク・アンド・ライドの駐車場とかじゃなくて、コインパーキングのほうでの数字になっております。

○●●委員

また折を見て、業者のかた等の協力も要るんですけども、どの程度の変動になってるのかっていうのは、ちょっと傾向を捉えられたほうが、今後の利用増進のときの対策の参考になるかと思しますので、その点も御検討いただければと思います。

○会長

ありがとうございます。

ほかにございますか。

よろしいですか。

(「なし」の声あり)

○会長

またあれば後ほどでもけっこうですので、よろしくお願いをいたします。

では続きまして、粟生線の利用状況についてということで、これは神戸電鉄●●専務、
よろしくお願いします。

○●●委員

神戸電鉄の●●でございます。

平素は弊線の列車運行に対しまして格別の御支援を賜っておりますことを、この場を借りてあらためてお礼申し上げます。

それでは、資料3に基づきまして、粟生線の利用状況について御説明をさせていただきます。

以降、着座にて御説明をさせていただきます。

それではまず、資料3、1ページ目及び2ページ目について、2024年度の4月から8月までの月別の推移を示してございます。

まず、1ページを御覧ください。

上から8段目に、対2023年度の増減率というものをお示ししてございます。

これを見ていただくと分かりますように、5月以降はそれほど大きな変化が出ていないということでございますけれども、これは2023年度の5月にコロナが5類になったということを受けまして、コロナ以降の回復が鈍くなっておるということを示しておるところでございます。

それから、次のページ、2ページ目に、4月から8月までの合計を左の表に、右の表には定期と定期外別の数値をお示ししてございます。

まず、左の表でございます。

一番下のほうに、対2019年度の増減率がマイナス12.0%というふうに示してございます。さきほども大分戻ってきたというふうに申し上げましたけれども、コロナ前と比べるとやはりマイナス12%というようなことで、まだまだ大きな開きがあるというところでございます。ただ、この開きについては、元に戻るということではなく、年々1%未満ではございますけれども、恒常的に旅行客が減ってきてたというところもございまして、それらを加味するとなかなか元どおりには戻らないだろうというふうには推測してございます。

それから、右の表でございますけれども、定期及び定期外でございます。

これも一番下を見ていただきますと、定期がマイナス12.7%、定期外が11.1%

という比率になってございます。ただ、それは、これまで定期外については非常に戻りがよかった。それで、定期については戻りが悪かったというふうに今まで御説明をさせていただいてたんですけれども、今年に入りまして、このように多様な数値になってきておるといところでございます。これについては、今年の4月から回数券を廃止にさせていただきました。その影響で、回数券の大部分のかたが定期のほうに移行されたということもありまして、定期の回復が前年度までに比べるとよくなってきておるといところでございます。

続きまして、資料3を御覧ください。

下の表に各市ごとの駅の乗降を示してございます。

表の一番右側に乗降の割合というものを示してございます。各市ごとの合計でいいますと、神戸市の合計が46.4%、三木市の合計が36.5%、小野市の合計が17.1%という、それぞれの比率になってございますけれども、この比率についてはほぼ変化なしといところでございます。

続いて、4ページ目を御覧ください。

4ページ目につきましては、対前年の、これまでの4月から9月の乗降人数を示してございます。

同じように、下の表の一番右側を御覧いただければというふうに思います。

まず、神戸市域で目立ちますのが、木津駅が対前年に対して8.9%というふうに大きな数字になってございますけれども、これは木津の工業団地の就労者数が回復しておるといことで、大きな伸びになっておるといところでございます。なお、木津駅につきましては、神戸市環境未来館跡地に、神戸市様のほうで職員の技術研究所というものが完成をして利用されるようになってございまして、現在のところ、月1回程度の研修を予定されているといところで、これから研修回数についてはもっと増えていくといことで、木津駅についても更に御利用いただけるのかなというふうに思っております。

それから、三木市につきましては、大村駅で11.8%といことで、これも大きな伸びになっておりますけれども、ここについては詳しいことは分らないですけれども、志染駅の駅員にヒアリングしたところ、高校生の乗増が増えておるといようなことでございまして、その影響が出ておるといところでございます。

それから、小野市につきましては、樫山駅が9.2%といことで、これも大きな伸びを示してございますけれども、この駅につきましても、工業団地へのお勤めのかたが増え

ておるということでございます。一時、コロナによって外国人労働者がかなり減ったというところで、なかなか回復はしてきてないですけれども、全従業員でいいますと回復傾向にあるというふうに見てございます。

それから、それ以外に、市場の8.3%、それから葉多の19.1%ということで、この2駅についても大きな伸びを示してございますけれども、この2駅とも、もともとの個数が少ないものですから、少しの変化で大きく出ておりますので、原因の特定には至っておりませんけれども、今後も注視をしていきたいというふうに思っております。

それから次に、資料3別紙1ということで、A3にこれまでの月別の利用客の推移を示してございます。

これを見ていただきますと、緊急事態宣言が出されておった頃と、それ以降の波形が若干変わってきていまして、近年は同じような波形が続いておるということで、波形でいいますと、毎年8月と2月というのが利用者数が少なくなるというようなことで、同じような傾向に、前の形状に戻ってきてるというのが、この折れ線グラフの変化でも見てとれるかなというふうに思います。

また、月ごとでいいますと、右肩上がりに、徐々にですがなってきておるということで、ある程度順調に回復をしてきておるというのはこのグラフで見とれるかなというふうに思っております。

この利用状況について、次のA3の別紙2に月別に棒グラフにしたものをおつけしてございます。

これを見ていただくと、月ごとに多少のばらつきはあるものの、2024年度に向けて順調に回復はしてきておるというところでございます。ただ、近年については伸びが鈍化してきておるということが、これを見ていただけるとお分かりになるかなというふうに思います。ただ、コロナ前、青色が2019年度でございますけれども、2019年度に比べると、まだまだどの月においてもそこまでの回復には至っていないということがこのグラフで読み取れるかというふうに思います。

簡単でございますけれども、以上でございます。

○会長

ありがとうございました。

栗生線の利用状況についてであります。

これについてまた御意見、御質問がありましたら、挙手にてお願いをいたします。

はい、どうぞ。マイク行きます。

○●●委員

すいません、神戸市です。

さきほどの御説明の中で、回数券を廃止されて、その分定期外の御利用が増えたということでお伺いしました。この回数券廃止に代わって、何かＩＣカードのポイント割引とか、そういったところの御利用者様に対するサービスの補強みたいな、そういったことは御検討されてるかについてお伺いしたいです。

○●●委員

回数券の廃止に伴いまして、ポイントサービスというものを追加で実施をさせていただいております。これまでも、ＰｉＴａＰａカードについては、１１回目から割引するということが既に導入をされておりましたけれども、ＩＣＯＣＡカードにつきましても同様に１１回目から還元をします。ただ、ＰｉＴａＰａのカードについては、後払いなのでお金で精算できるんですけども、ＩＣＯＣＡカードは先払いということになりますので、お金で還元することができませんので、ポイントという形で還元をさせていただいて、それを、ポイントをまたチャージをしていただいて、運賃に役立てていただくというふうなサービスの開始をさせていただいておりますので、回数券による割引はなくなりましたけれども、ＩＣカードを使っていただくと、それに近いような還元サービスを入れさせていただいてるところでございます。

○会長

ありがとうございます。よろしいでしょうか。

ほかに御意見ございますでしょうか。

どうぞ。

○●●委員

すいません、同じページの定期で１２．７％減となっておりますけれども、この定期っていうのは通勤と通学があると思うんですけども、どちらかが極端に減ってるとか、何か傾向っていうのがあれば教えていただきたいと思うんですけども。

○●●委員

実は、この利用実績に関しましては、通学と通勤が分けられないということになっておりますので、この１２．７の割合についてはちょっとはっきりしたことは申し上げられませんが、それ以外の販売実績等を見ますと、通学についてはもうほぼコロナ前に近

いような数字まで戻ってきておるというところでございます。ただ、通勤に関しては、まだまだ戻りが悪いというようなことで、在宅勤務をまだされてるかたもおられますし、毎日通勤されていないかたもおられますので、そういうかたについては、定期よりも定期外で御利用いただいているというようなところもございますので、まだまだ通勤定期については戻りが通学に比べると悪いというような状況でございます。

○会長

ありがとうございます。よろしいでしょうか。

どうぞ、次にございますでしょうか。

では、ひとまず、あ、どうぞ。

○●●委員

細かい技術的な質問で恐縮なんですけど、収益認識の変更で、会社さんによっては定期販売実績は月割りではなくて、整理方法を変えられた会社さんもあるんですけれども、神戸電鉄さんのこのデータはどんな感じになってるんでしょうか。

○●●委員

もう一度お願いします。

○●●委員

収益認識の変更基準にあわせて、定期券を販売実績からの月割りで、掛ける60でやられても、実際に乗車日で、日割計算をやってる会社さんもあって、これ会社で扱いが違っていて、神戸電鉄さん、どうされてるかな。

○●●委員

収益認識、かなり細かい話なんですけども、これまで定期につきましては、販売した月から売上げも計上するという方式でした。例えば学生さんが4月から定期を買われたときに、通常3月に買われますので、3月から例えば3か月定期を買われたということになりますと、3、4、5で計上を、均等に3分割して計上をするということがこれまでのことでしたけれども、これからは利用実績に合わせてということになりましたので、4、5、6で計上をするという形になりましたので、計上は買われた月からじゃなくて、実際に利用される月からになったということで、期ずれが生じてくるということでございまして、これはもう導入した1年目だけの話でございますので、2年目からは当然変化がなくなりますので、特に月割りを日割りにしたとかということではございませんので、単純に1か月計上がずれたということでございます。

ここで表している数字については、御利用人数だけですので、ここは収益認識は全く関係なく、利用実態に合わせて数字を書いておりますので、全く変化はございません。

○会長

よろしいでしょうか。

どうぞ、ほかにございますでしょうか。

(「なし」の声あり)

○会長

では、一旦次に移らせていただきます。

報告事項3番、令和6年度の協議会事業について、アからウまでございますが、一括して事務局のほうから説明をお願いいたします。

○事務局

それでは、失礼いたします。

それでは資料4をお手元に御用意をお願いいたします。

資料4につきましては、昨年度実施いたしました小野駅前第1・第2時間貸し駐車場におけるリニューアルキャンペーンということで御報告させていただきます。

昨年リニューアルいたしましたキャッシュレス精算機の導入ですとか、駐車場のフラップレス、車止めのようなもの、フラップレス化させたリニューアルを行いました小野駅前第1・第2時間貸し駐車場におきまして、そのリニューアルしたといった内容の御周知とともに、栗生線のパーク・アンド・ライド利用促進につなげるためにリニューアルキャンペーンを実施しておりますので、御報告をいたします。

キャンペーン期間につきましては、1番のところでございますが、令和6年10月1日、昨日から来年令和7年1月6日月曜日までの期間でございます。

キャンペーン内容といたしましては、各種キャッシュレス決済はございますが、交通系ICカードでございますP i T a P aにより駐車料金を決済された場合、キャッシュレス決済によるポイント付与が、通常100円で1ポイント付与のところ、100円で20ポイント、ポイントが20倍つくといったようなキャンペーン内容となっております。

詳細につきましては、次のページからPRのチラシ等もつけておりますが、裏面のところに、こちらの小野駅前第1駐車場の利用料金ですとか、栗生線を御利用いただいたかたの駐車料金の割引サービスなどの利用方法等も記載したようなPRチラシですとか、その次のページには、中づり広告の分もおつけしております。こういった形で周知、PRに取

り組んでまいったところでございます。

そのキャンペーンの内容といたしましては、全て神戸電鉄様が取り組まれているところでございますが、三木市、小野市では広報ですとか、そういった形での広報で周知、PRを図りたいと考えております。

こちらに付与されるポイントでございますが、交通機関を御利用いただいた際に、500ポイントをためていただきますと、50円分が還元されるといったような内容になってございます。

資料4の御説明としては以上でございます。

続きまして、資料5番でございます。

神鉄トレインフェスティバル2024の開催についての御報告でございます。

毎年、神戸電鉄株式会社様とこちらの粟生線活性化協議会の共催イベントでございます。神鉄トレインフェスティバル2024が今年度も開催されますので、その内容の御報告でございます。

開催日につきましては、令和6年10月6日の日曜日午前10時から午後3時まででございます。

開催場所は、神戸電鉄鈴蘭台車庫でございます。

開催内容につきましては、特別列車の運行ですとか、見津車庫内での車両撮影会をはじめとして、様々なイベントが開催される予定となっております。

なお、今回は、大きい4番のところに記載させていただいておりますが、協議会ブースにおきまして、三木東高校様との利用促進活動、連携をさせていただく予定となっております。連携内容といたしましては、地域活性という授業を取っておられる高校3年生のかたに御協力いただく予定でございます。取組内容といたしましては、生徒様が制作された沿線の魅力を伝えるような動画を協議会ブースで放映ですとか、ブース来場、お越しになられたかたに三木東高校様が作成されたオリジナル缶バッジを贈呈、そのほかにもイベント当日の各種ブース運営にも御協力いただく予定でございます。

その下の写真のところでございますが、今回の連携に先立ちまして、高校生のモビリティ・マネジメントの取組の一貫といたしまして、三木東高校の生徒様に出前講座といたしまして、粟生線の歴史とか現状及び利用促進活動等に関する出前講座を実施した風景でございます。

添付資料といたしましては、神鉄トレインフェスティバルの広告のチラシをおつけして

おります。後ほど御覧ください。

資料5の説明としては以上でございます。

続きまして、資料6にまいります。

資料6でございますが、駅的美装化の実施についての御報告でございます。

7月1日に開催いたしました前回の協議会におきまして、本年度の取組方針として掲げました、駅利用者の快適性の向上とともに、栗生線への愛着心やマイレール意識の醸成を図るために、主に小学生以下を対象としたお子様や子育て世代をターゲットとして、デザイン面でも趣向を凝らした特徴のある駅づくり目指した駅的美装化を実施予定でございます。

企画名といたしましては、1番でございます、栗生線アトラインプロジェクトでございます。

実施駅及び実施日でございますが、神戸市は木幡駅、日にちは10月19日、三木は志染駅、日にちは11月17日、小野市は小野駅、11月24日日曜日に各駅特別ブースで開催をする予定でございます。

企画の概要でございますが、(1)のところでございますが、駅の広告枠、大きさは駅によって変わるところがございますが、大体、横が1メートル60センチ掛ける高さが1メートル50センチの広告枠を活用いたしました絵画の制作でございます。広告枠をキャンバスに見立てて絵画制作をするといった内容、それと制作した絵画を掲示するといった、そういった企画の概要でございます。

今回の絵画制作につきましては、アーティストのかたを講師としてお呼びいたしまして、そのアーティストのかたが実際に目の前で描かれるその技を見たりですとか、そのアーティストのかたとお子様が一緒になって作品を創り上げていくといったような内容となっておりまして、趣旨といたしましては、子どもの栗生線への愛着心ですとか、芸術への感性を育みながらも、デザイン面でも特徴的な駅づくりを目指すといったところでございます。

(3)でございますが、アトラインという企画名にさせていただいておりますが、単駅、1つの駅ではなくて、複数の駅において実施することで、駅と駅がアートでつながっていく、アートがラインになるといったことで、栗生線が単なる移動手段としてではなく、栗生線を利用する楽しみですとか、栗生線を利用するたびに新たな発見につながるような企画となるように、企画を進めているところでございます。

イベントの詳細なチラシにつきましては、別途次のページに添付としておつけしておりますが、それぞれ木幡駅、志染駅、小野駅でのそれぞれのチラシになってございます。

簡単ではございますが、御報告は以上でございます。

○会長

ありがとうございました。

協議会事業についてということで、何か御意見等ございましたら、挙手にてお願いをいたします。

せっかくなので、申し訳ないですが、この神鉄トレインフェスティバル、三木東高校ということで、何か御意見等ございましたら、先生、よろしくお願いします。

○●●委員

県立三木東高等学校の●●でございます。

資料5につきまして、神鉄トレインフェスティバルということで、さきほど御説明ありましたとおり、本校の3年生の地域活性という授業のほうで、トレインフェスティバルで連携させていただくようになりました。この地域活性という授業で、今年もさせていただくんですが、今年度から開講されてる授業になっておりまして、3年生のみが選択できる授業となっております。今回は、神鉄トレインフェスティバルとの連携となっているんですが、そのほかにも三木市内のいろいろな歴史であったり、産物であったり、祭りであったり、グルメであったり、そんなものを生徒自らがSNS等で発信して、三木市、もちろん、全国にどんどん広めていこうというような活動をしております。

以上でございます。

○会長

急に振ってすいません。ありがとうございます。

ほかに、せっかくなんですが、これ、駅的美装化の話、以前、●●さんがいろいろと、さっきふと思い出しまして、もし何かよろしければコメントをお願いできればと。

○●●委員

すいません。私も何か昔言ったような記憶があるなと思ったんですけど、やっとしてくれたという気持ちです。それはいいんですが、このイベントが先着順になってるようなんですけど、これって最初に予約なんかはしないんですか。それだけ聞きたいです。

○会長

事務局、どうぞ。

○事務局

御質問ありがとうございます。

先着順としておりますが、特に事前の予約等は不要でございます。当日、実際に会場に来られたかたから受付させていただくといった内容になっております。また、先着順としておりますが、その30名に漏れたからといって絵が描けないといったわけではなく、小さい紙とかに絵を皆さんに描いていただいて、後日、小野駅の特設会場に展示をさせていただくといったことで考えております。

○●●委員

なるほど。

私が心配するのは、神戸市が木幡駅になってるんですけど、木幡駅の前を通ると、広くなっていてやりやすいとも思うんですが、30人も来なかったときにどうするかなと思って、その近くの幼稚園っていったって、押部谷にあるおしんべ幼稚園か、桜が丘のさくらんぼ幼稚園に御案内を、このチラシを持って行って御説明するとか、そうでなかったら木幡ってなかなか人がね。乗降者も少ないと思うんです。一番多いのは、押部谷とか、私が使っている栄駅とか、木津駅といったって、あそこはもう産業団地なので、小っちゃい子なんかいませんからね。それを考えると、ちょっと事前に幼稚園とかどっかへ行っていて、御説明していただいたほうが、人が来てもらわないといけないと思うんで、よろしくをお願いします。

○会長

ありがとうございます。おっしゃるとおりだと思います。

これについては。

事務局、どうぞ。

○事務局

御意見ありがとうございます。

今回、人数が少なかったことも御心配いただいております。それに対しまして、我々も各沿線市、駅の沿線にある小学校ですとか幼稚園に直接広報させていただこうというふうに考えております。今回初めての取組なもので、どれぐらい人数が集まるかというところは見えないところもございますが、今回はそういった形で周知に取り組みさせていただこうと考えております。今回の内容を踏まえまして、反省等もしながら、今後の周知PRの方法も検討していきたいというふうに考えております。

○会長

よろしいでしょうか。

○●●委員

よろしくお願いします。

○会長

周知のほう、事務局、よろしくお願いします。

ほかにございますでしょうか。

いいですか。

では、ちょっと、神戸西区、三木東と来たんで、ちょっと小野駅前第1・第2時間貸し駐車場のリニューアルキャンペーンということですけど、突然ですが、●●さん、いかがですか。何か御意見がありましたら。

○●●委員

いや、神鉄さんにちょっとお願いというか、要望というかね。今までの状況を見てきたら、移動のための乗客というのはなかなか増えない。はっきり行って難しい。よっぽどの変わったことがない限り。今、乗客が増えとるのは、やはり電車に乗るから。その電車に乗ってどこかにいきたい、何かを食べに行きたい、そういう客がある線路は増えます。だから、神鉄の場合は、車両をもうちょっと何とか工夫ができないかなと思います。はっきり言って、近鉄、新型車両入れました。全国に流れてます。客増えます。そういう何かインパクトのある、何かそういう事業、そういうのやってほしい。前も、今までもずっと言うてるけど、クロスシートのほうがいいと思うんやけどね。なかなかできないじゃない。

それと、社員さんなんですけど、鉄道に興味がある、好きなかた、そういうかたを採用していただければ、これはもう勝手な意見。そしたら、いろんな、鉄道の好きな人はアイデアが湧きます。北条鉄道の社員さんなんかでも電車が好きと、鉄道が好きで、いろいろ全国、車両を探したら、あれありましたと。完全に当たりますね。そういうことをちょっと神鉄さんに要望というか、お願いをしておきたいと思います。

○会長

すいません、突然振りまして、ありがとうございます。

何か、●●さん、何かありましたらどうぞ。

○●●委員

貴重な意見、ありがとうございます。

鉄道に関しては、車両については、大きな観光地があるところは、イベント列車的なものとか、観光列車的なものとして、内装をいろいろ工夫してということができるとは思いますが、なかなか弊社の鉄道でいいますと、ほとんどの客が通勤客であるというところもございまして、なかなかそういうことに関して投資をしても、リターンについてはちょっと厳しいかなというふうに見ております。

それから、ロングシートじゃなくてクロスシートのほうが確かに長いこと乗るにはいいんですけども、鈴蘭台の近くから新開地方面に行くことを考えると、そこでクロスシートということになると、やはり車内の混雑が非常に厳しくなってきますので、乗り降りのこととか、そういうことを考えますと、やはり今のロングシートが望ましいのかなというところで、閑散区間とラッシュ時間帯と、車両を分けるというようなことができるならばいいんですけども、なかなかそれほど車両のところに余裕がないものですから、観光列車のようなものを造ってということがちょっとできかねるような今の状況でございまして。今、正直申し上げますと、この要望の中にも列車の製造について入れていただいておりますけど、かなり老朽化した車両がまだ残っておりますので、取りあえずそれを新しい車両に更新していくのが今の大きな私どもの命題というふうになってございます。

それと、社員についてでございますけれども、もちろん鉄道大好きな方に入っているだけののが一番望ましいというふうに思っております。ただ、正直申し上げますと、今、社員を確保することさえ非常に厳しい状況になってございます。特に、沿線の高校から、なかなか我々のほうの会社に就職いただけないと。かつては三木市、小野市の高校からかなりの客が社員として応募していただいていたんですけども、今は本当に応募がほとんどないような状況でございまして、もし皆さんのお近くでそのような客がおられましたら、ぜひ弊社のほうに入社を御案内いただけたらと思いますので、よろしくお願いいたします。

○会長

よろしいですか。

神鉄さんもそうです。先日、神姫バスの方としゃべっていても、人手不足だということで、また全国各地、同じような状況だと思いますが、またいろんな忌憚のない意見も出していただいて、できることはやっていきたいと思っております。

ほかにはございますでしょうか。

(「なし」の声あり)

○会長

ではまず、先に移らせていただきます。

その他であります、三木、小野駅間の運転休止について、神戸電鉄様、お願いいたします。

○事務局

事務局、神戸電鉄●●でございます。私のほうから御説明をさせていただきます。

すいません、着座にて御説明をさせていただきます。

お手元に資料がございますけれども、こちら、駅前ポスターを縮小したものになります。

内容といたしましては、小野市道4309号線等の改良工事に伴います池の下踏切道拡幅工事につきましてとなっております。こちら、12月14日の土曜日の始発から15日日曜日12時頃にかけて、三木駅から小野駅間で計画運休を予定しておりますので、この概要につきまして御説明をさせていただきます。

この運休計画につきましては、神戸電鉄市場駅から少し小野駅側でございます小野市道4309号線の道路拡幅事業に伴いまして、当社の池の下踏切道につきましても拡幅する必要が出てきております。この拡幅工事は、当該道路の幅員が狭く、緊急車両が通行できます4メートルの幅員を確保するため、小野市様で進められておられます事業の一部でございます。同踏切道につきましては、両側を河川及び水路に挟まれた狭隘な場所でございます踏切道のため、それらを与えている橋梁、鉄げたになりますけれども、こちらを撤去いたしまして、道路の拡幅スペースを確保する必要があります。この橋梁を撤去するためには、水路の水を流すためのコンクリート製のボックスを設置しました上で、その上に線路を敷き直すという大規模な工事が必要となります。そのため、仮に運休せずに夜間工事のみでこの工事を実施するとなりますと、工事期間が非常に長くなりまして、また踏切が使用できない期間も長期にわたってしまいます。そこで、その手法での実現は困難であると判断いたしまして、計画運休による工事を実施することとなりましたので、皆様の御理解と御協力をお願いするものでございます。

なお、運休日時につきましては、さきほど12月14日土曜日始発から翌15日日曜日の12時頃までと申し上げましたけれども、天候あるいはその他の理由でこの工事を延期する場合がございますことも申し添えておきます。ちなみに、延期の場合につきましては、翌週の12月21日土曜日の始発から翌22日日曜日の12時頃までとなっております。

す。

この件につきましては、当社、神戸電鉄におきましては、ホームページでの掲出、またこちらの駅構内でのポスター、あるいは電車内でのポスターで既に告知を開始しております。今後、三木市様及び小野市様の広報紙で更に広く告知を予定されております。

皆様がたにおかれましては、計画による期間中は、従来の鉄道ダイヤの電車本数に応じた代行バスを運行をいたしますが、電車からバス、あるいはバスから電車への乗換えに時間を要しますこと、またバスでこの駅間を輸送するに当たっては、やはり電車よりも輸送時間を要する、これらの理由によりまして、通常御利用いただく場合よりも運行にお時間を、移動にお時間を要することとなりますので、定期券をお持ちのお客様は振替輸送の御利用をお願いいたします。また、この代行バスを御利用いただく場合は、通常よりも時間的に余裕を持った御出発をお願いいたします。

以上、簡単ではございますけれども、こちらの工事の説明でございました。

○会長

ありがとうございました。

運転休止について、何か御質問等ございますでしょうか。

これについてはよろしいでしょうか。

(「なし」の声あり)

○会長

ないようでしたら、今日の議事事項、報告事項は全て終了いたしましたけども、会議全体としまして何か、あ、今何か思い出したとか、御意見ありましたら挙手にてお願いをいたします。

(「なし」の声あり)

○会長

ないようでしたら、本日の会議次第は終了しましたので、マイクを事務局に返します。

○事務局

●●会長におかれましては、会議の進行につきまして誠にありがとうございました。

それでは、閉会に当たりまして、協議会の副会長、小野市の●●副市長に御挨拶をお願いしたいと思います。どうぞよろしくをお願いいたします。

○副会長

小野市の副市長の●●でございます。

本日は、短い時間ではございましたが、本当に様々な御意見いただきありがとうございました。特に御意見では、神戸電鉄さんのこと、またイベントのこと等、様々な意見がありましたので、またこの協議会としても、どういうふうな格好で対応していけばよいかということを考えていかなければならないと思います。

また、さきほど神戸電鉄さんからもお知らせがございましたが、私どもの市の市道の工事に伴いまして、2日間ではございますが、もう利用の皆様には非常に御迷惑をおかけすることになりますので、これも、どうしても緊急車両を通さないといけないというようなこともありますので、御理解をいただきたいと思います。

それと、さきほどから御説明があったように、やはりこれから設備投資でたくさんのお金が必要になってくる。また、コロナ禍以降、人の利用客はだんだんと戻ってきているものの、なかなか従前には戻らない。また、さきほどもありましたが、運転士それから臨時職員等、なかなか人の確保ができない。また、改正労働基準法によって、非常に労働環境に係る人の確保が、特に輸送の部門の場合は厳しくなっているということがありまして、もう全てがなかなか思うどおりに進まないというふうな形で、なかなか明るい話が見えてこないのが実情であります。ただ、これが、もう仕方がないということで諦めてしまうと、この地域の公共交通である鉄軌道が本当になくなってしまうというふうな危機に瀕する可能性がありますので、もう私どもとしては、やはりこれは先人の築いてくれた非常に大事な資産でありますので、ぜひ何とかして守っていかなければならないと。そのためにも、即効性のある、なかなか施策、それから取組というのはございませんが、やはりこのように粘り強く継続して支援をみんなですていくということが大切になってくると思いますので、今後とも皆様がたの御協力をよろしくお願いいたしたいと思います。

簡単ですけど御挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

○事務局

どうもありがとうございました。

それでは、これをもちまして第53回神戸電鉄粟生線活性化協議会を閉会いたします。

なお、次回の協議会の開催につきましては、1月から2月頃を予定しております。何かと御多用のところ恐縮ですが、その際には御参集賜りますようお願い申し上げます。

それから、10月、11月と粟生線活性化に向けた取組などが本格化してまいります。委員の皆様におかれましては、今後とも御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

本日はどうもお疲れさまでした。ありがとうございました。